

《お知らせ》

★総会のお知らせ

5月17日(日)一般社団法人香川県助産師会通常総会が岡田コミュニティーセンターで開催されます。是非会員の皆様の参加をお待ちしております。なお、総会御欠席の方は、同封の委任状の提出を香川県助産師会事務所までお願いします。(締切4月30日まで)

★推薦委員会からお知らせ

令和2年5月17日(日)総会において令和2年度の役員改選を行います。

《候補者名》

会長 宮本 政子(現)	副会長 直井 初美(現)	真鍋 由紀子(現)
保健指導部会長 関亦 頼子(現)	勤務部会長 多田 鈴子(現)	
推薦委員 小松 千秋(現)	矢野 眞知子(現)	財務 中橋尚子(現)

☆ 助産所部会長、総務は交代予定です。立候補される方は推薦委員までお知らせください。



★「いいお産の日」イベント実行委員会のお知らせ

- ・高松会場：今年は行事の関係でお休みします
- ・西会場：第1回実行委員会5月9日(土)9:30～(岡田コミュニティーセンター)

★すこやか会の報告

2月9日に2019年度第2回目のすこやか会が開かれました。多くの方が参加されすこやか助産師センターの活動内容の確認と報告、メンバーの確認が行われました。その中で、以下の周知事項がありましたので皆様ご確認ください。

- 母子訪問等で使用する体重計は検定付きのものを使用し、定期的に検定を受けましょう。
 - 母子保健活動で新生児に接する機会がある方は年1回胸部レントゲン写真をとりましょう。
 - 周産期医療協議会において、添い寝の禁止について見解が出されたと報告がありました。保健指導で添い寝について質問あれば、危険性についてもアドバイスするようにしましょう。
- 次回すこやか会は2020年7月12日(日)13:30～の予定です。



トピックス

～西讃保健福祉事務所管内研修会より～

妊娠届時に使用するアセスメント項目の一例です。合計点数に応じて、2～5点をハイリスク、6点以上をスーパーハイリスクに区分しています。これにより早期介入が可能となります。香川県内でもアレンジして活用している自治体もあります。様々な要因で孤立しがちな妊婦と早い段階から信頼関係を構築し、適切な時期に必要な介入ができるとともに、虐待予防という観点からも重要になってきます。

妊娠届出時アセスメント項目の一例

	項目	点数	
1	第1子妊娠10代	1点	
2	母親の年齢が若い	2点	
	19歳以下		
	20～24歳以下	1点	
3	高齢出産	40歳以上	1点
4	母子家庭への移行(入籍予定なし・別居・再婚・死別)	1点	
5	未婚(入籍予定あり)	1点	
6	第4子以上	1点	
7	届出週数20週以上	1点	
8	臨んだ妊娠ではない(予想外も嬉しかった、予想外で戸惑った、困った、なんとも思わない、その他)	1点	
9	中絶2回以上	1点	
10	母の病気(育児支障・精神面以外)	1点	
11	妊娠中のタバコ・飲酒、妊娠前のタバコ	1点	
12	うつ状態が2週間以上続いたことがある	2点	
	妊娠前(1年以内・それ以上)・妊娠後、どちらともいえない		
13	メンタルクリニック等受診歴(内服あり・なし)	2点	
14	困った時に助けてくれる人がいない	1点	
15	定職なし(パートナーが無職、一人親の場合は母親が無職)	1点	
16	経済的問題・困っている	1点	
17	外国人の母子	1点	
18	夫婦関係で困っている	1点	
19	死亡した兄弟	1点	
20	その他(複雑な家庭関係・ステップファミリー・多胎・兄弟の障害、面接時何となく気になる妊婦)	2点	



とらうべ通信 2020.4月号 No.93

発行所：(社)香川県助産師会 高松市春日町1176
発行責任者：宮本 政子 ☎：087-844-4131 FAX：087-844-4130

会長挨拶

会長 宮本 政子



令和の時代を迎え安寧な日々が来ると思いきや、新型コロナウイルスの話題ばかりの毎日です。新年度を迎え「新たな気持ちで頑張ろう」という内容から書き始めたいのですが、これまでのトラウベ通信を見返してみると、書き始めは地震・豪雨災害など良くないことばかりが続いております。しかし、一歩外に出れば野山には花々が咲き、日差しも穏やかで過ごしやすい季節となりました。大勢での花見も自粛ムードですが、ご家族でお出かけし楽しまれてはいかがでしょうか？

さて、今年度は中国・四国地区研修会を香川県が担当しております。10月17日(土)18日(日)にサンポートホール高松の会議室で開催し、テーマは「母と子をつなぐ助産師—心と知恵と技—」です。研修内容は周産期の男性(夫)の性の問題、母乳育児支援、新生児の発達、産後ケア事業などCLOCMiP®レベルⅢの申請に生かせる研修を企画して準備を進めております。多くの方のご参加をお待ちしています。

助産師業務に関する動向では2019年12月に産後ケア法案(母子保健法一部改正法案)が公布され、産後ケア事業が全国に広がり、担当者の質の担保が求められています。日本助産師会では産後ケア実務助産師研修を開始し、修了者を認定する制度ができました。これまでアドバンス助産師の申請に必要な研修も含まれますので、地域で働く会員の皆様は申請をお願いします。

また、助産師教育の動向では令和2年4月から香川大学医学部医学系研究科看護学専攻(修士課程)で助産師コースが開設されます。香川県立保健医療大学助産学専攻科も令和4年度から助産師教育が2年間の大学院教育に変わります。変動する社会の変化により母子保健ニーズは多様化及び複雑化しており、ニーズに対応するためには助産師の高い専門的能力が必要です。大学院での助産師教育に大いに期待するところです。アドバンス助産師などの資格取得も重要ですが、助産師資格を持つ人を対象とした大学院もたくさんありますので、日頃の実践を研究という過程を通して見直してみるのもお勧めします。



令和2年度(公社)日本助産師会中国・四国地区助産師研修会のお知らせ

主催：(公社)日本助産師会 (一社)香川県助産師会
日時：令和2年10月17日(土)～18日(日)
場所：サンポートホール高松 会議室

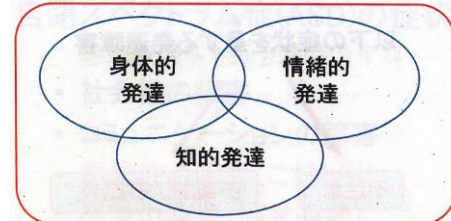
今年は香川県で開催されます。できるだけ多くの方に参加いただけるようお願いします。参加申し込み・詳細は機関誌「助産師」5月号に掲載される冊子をご確認ください。

研修会報告

日本女性心身医学会研修会に参加して

報告) 高田恵子

子どもの発達とは？



★それぞれが別々に発達するわけではない

また、発達速度にも個人差がある

2月2日サンポート高松の国際会議場において「ウイメンズメンタルヘルスをライフステージから考える・支える」をテーマに研修会が開催されました。他職種が様々な視点から、女性のライフステージと心身のケアについて考える場となりました。

村川和義先生は、小児科医の立場から女性と発達障害についてお話してください、子どもの発達において「どの発達が大事ですか？」という問いかけが印象的でした。便利な道具や機械、AIなどの発展により身体的発達や知的発達は補える部分がある。しかし、情緒的な発達は、人との関わりの中で補う必要があるため、重視されているのではないかということです。近年、私たちが関わる妊産婦は、発達障害の当事者や家族である場合が少なくないと感じます。母性や父性の関わりが重要であり、私たち助産師はそれに関われる存在であると思います。女性の発達障害の特性や発達障害圏の親の育児困難感を学ぶことができ、日々の関りの中で生かしていきたいと思いました。

川田清禰先生は産科医の立場から不妊治療の現状とストレス反応、マインドフルネス瞑想について、香西祥子先生は妊婦・授乳婦薬物療法専門薬剤師の立場から、妊娠、授乳中の向精神薬の服用について、分かりやすくお話してくださいました。野萱順子先生は、麻酔科医の立場から女性の痛みについてお話してくださいました。

様々な興味深い結果を知り、性ホルモンとその変動により生理周期、妊娠、出産、更年期などを複雑に経験する女性の身体の奥深さを感じました。そして女性の一生を支える助産師の仕事もまた奥深く、魅力的なものだと思いました。女性とその家族に寄り添える存在であり続けたいと思います。

「妊娠期から授乳期における栄養摂取と食事」に参加して

報告) 池田美江

2月9日、三木町健康福祉課の管理栄養士で日本糖尿病療養指導士でもある久米川和希先生による研修会がありました。

妊産婦の食生活の現状は①妊娠する世代の女性の欠食率が増加 ②食に関する関心が薄い ③食品の選択基準はおいしい・価格が各7割を占め栄養価はの次 ④野菜や海藻、牛乳の摂取が少ない ⑤20代女性でBMI18.5以下は2割、その内1割はまだ体重を減らそうとしている だそうです。助産師もこの現状や背景をふまえていないと対象者に合った指導に結びつかないと思いました。また妊産婦はもちろんですが、妊娠する世代より前の年齢層やその親世代への食育も重要であると学びました。

食事指導の際に求められる態度として否定はしない・できている点や工夫している点を認めてほめる、〇〇をすべきと決めつけないことを伺いました。対象者にかかる言葉を選択し良好な関係を築くことで指導を受け入れやすくなります。その結果行動動変容につながることを再認識しました。また「新たな命を育む貴重な時間を食べる楽しさとともに過ごすことができるようサポートする」ということを学びました。食事の制限や我慢することに目を向けがちですが、本来の食事の目的を失わないようにという視点にはっとしました。今後に取り入れていきたい内容ばかりでした。

妊産婦の食生活は妊産婦自身とその家族、次世代の健康にも影響します。対象者が負担なく食生活の改善ができ健康を維持・増進していけるよう支援していきたいと思いました。



素敵な助産師さん、見~つけた!

こんにちは。高野さんからバトンを引き受けました、新居裕子です。



昨年4月に長男(3人目です)を出産し、現在善通寺市で3人育児に奮闘中です。地元は東かがわ市で、香川大学を卒業後、徳島大学で助産学を学び、香川大学医学部附属病院で4年間勤務しました。長女の出産で退職後、育児に専念する予定でしたが、子どもと、支援センターや親子ひろばで毎日過ごしている内に、お母さん達に何か役に立てることができたらなと考えるようになり、助産師会に入会しました。地域のことはあまり分からない状態でしたが、先輩方にご指導いただきながら活動を始めることができました。

今は次女の出産に続き、長男の出産でお休みさせていただいていますが、また少しずつ活動を再開したいと考えています。私自身も子育て真っ最中なので、お母さん達に身近に感じてもらい、また「新居さんに相談できてよかった」と少しでも思ってもらえるように頑張りたいと思いますので、これからもよろしくお願ひします。

4・5・6・7月の研修会及び行事

日時	研修会・行事・講師等	場所
5月17日(日) 10:00~12:30	令和2年度 一般社団法人香川県助産師会通常総会	岡田コミュニティセンター
5月17日(日) 13:30~15:00	「ウイメンズヘルスケアに活かす東洋医学」 ぼっこ助産院 院長 松尾真璃先生	岡田コミュニティセンター
5月28・29・30日	日本助産師会第93回通常総会、第76回日本助産師学会	愛媛県県民文化会館(愛媛県松山市)
7月12日(日) 10:30~12:00	【研究会】 「災害時に助産師が行う支援」 災害対策委員会	いのちの応援舎

すこやか助産師センター会を開催して—先輩達3人が参加—

すこやか助産師センター立ち上げに尽力して下さった3人の先輩達が揃って参加してくださいました。会に先立ち一言ずつ話していただきました。それぞれに思い出深い事ばかりで香川県助産師会の発展に力を発揮して下さいました。井上さんはホームページを立ち上げて下さりずっと運営して下さいました。十河さんは(社)日本助産師会香川県支部から一般社団法人香川県助産師会になる基礎作りをして下さいました。池添さんは乳房ケアで困り事があればいつでも相談に乗って下さり私達会員の乳房ケアの質を高める為に力を尽くして下さいました。3人の方々はまだまだ相談事は乗ってもらえるので今後ともお元気で力をお貸しください。



井上さん 十河さん 池添さん